

取扱説明書

REV LAMP Z/X

SPORTS & ECO

この度はPIVOT REV LAMPをお買い上げ頂きありがとうございます。
お取り付け、ご使用前には必ず本説明書をお読み頂き、装着後も大切に保管してください。
なお、説明書の再発行は有償となります。

<p>▲ 警告 下記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 夜間や暗い場所でランプが高輝度点灯すると幻惑する場合がありますので照度調整をするかOFF状態でご使用ください。 ● 換気の悪い場所で作業しない 排気ガス中毒や引火等で人体への危険があります。 ● 製品は安全な場所へ確実に固定する 使用中に製品が外れブレーキなどに挟まると運転操作が行えず大変危険です。 ● バッテリーの⊖極を外して作業する ショートなどによる火災、破損事故の恐れがあります。 ● コードの被ふくを傷つけない シートレール、ドア等でコードの被ふくが傷付くと、ショート、接触不良等による火災の危険があります。 ● 運転中に操作をしない 運転中の製品操作や表示確認は事故の原因となりますので、安全に十分配慮してご使用ください。 ● 配線はテープなどで収納する 使用中に各配線が絡まると運転操作に支障を来し、無理に引っ張るとショート等の原因となり、大変危険です。 	<p>▲ 注意 下記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性と製品その他に物質的損害が発生する可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 間違った設定や使用方法による車輦、製品、事故等の問題には弊社は一切の責任を負いませんのでご了承ください。 ● エレクトロタップは使用しない 配線は付属のカットギボシまたは半田付けで行い、配線部は絶縁テープで確実に絶縁し、芯線等が突き出していないかをお確かめください。 ● DC12V車で使用する 本製品はDC12V車用でそれ以外の電圧には装着できません。 ● 装着直後は製品に強い力を加えない 両面テープによる製品固定は装着初期ははげやすくなっていますのでご注意ください。 ● 薬品類は使用しない ゴミ・汚れが付着した場合はアルコール・シンナー・ベンジンなどの薬品類は使用せず、やわらかい布などで丁寧にふき取ってください。 ● ネジ・部品は元の状態に戻す ● 配線に不安がある場合は専門ショップへ依頼する 製品装着には専門知識を必要としますので、不安な方は専門ショップ等にご依頼ください。 ● 高温となる場所や水のかかる場所へ装着しない 故障の原因となります。 ● 眩しく感じる場所へ装着しない ● 加工・分解および改造をしない
---	--

目次

警告・注意・セット内容 1

REV LAMPの特長 1

コントローラー部の名称 1

配線接続方法 2

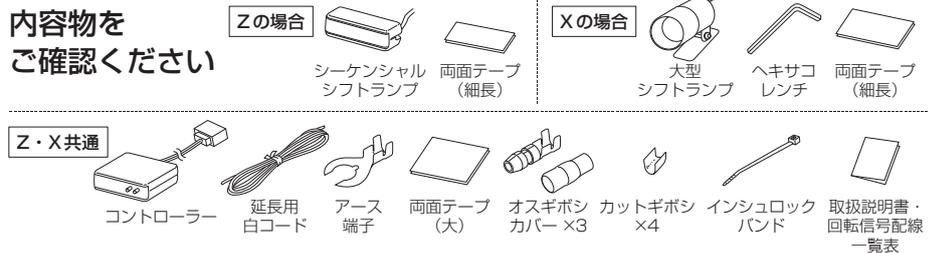
製品の固定 3

基本操作方法 3

各種設定 4

故障と思われるまゝに 4

内容物をご確認ください



REV LAMPの特長

共通の特長

回転警告	設定したエンジン回転を超えるとランプ警告しスムーズなシフトチェンジが可能。
ECO 警告	低回転域に設定し、設定回転を超えると減光点灯するECO 警告ランプ。
SPORTS & ECO	スポーツ走行から燃費走行まで幅広く対応。
デジタコ装備	デジタルタコメーター機能付でタコメーターのないクルマにも最適。回転表示範囲=100～9900rpm(100rpm単位)
簡単装着	トヨタ・ダイハツ・MINI (BMW) 車の一部は故障診断コネクターで回転信号が検出できるため、カプラーオン取付が可能。他の車種はECUへ直接配線。
幅広い対応	1～8気筒の幅広い車種に対応可能。
ワンタッチ切り換え	シフトポイントとECOポイントがそれぞれ設定でき、場面に応じてワンタッチ切り換え。

RL-Zの特長

シーケンシャル式
F1と同じシーケンシャル(予告)式のシフトランプが設定回転で点滅し、スムーズなシフトチェンジが可能。

SPモード — 1000 rpm 手前 ■■■■ 点灯
500 rpm 手前 ■■■■ 点灯
シフトポイント ■■■■ 点滅

Ecモード — 設定ポイント ■■■■ 減光点灯

Compact Body コンパクトなランプ部は様々な場所に設置可能。

RL-Xの特長

大型ランプ
高級質感のアルミ削り出しランプが設定した回転ポイントで点滅または減光点灯。

消灯状態 PIVOT REV LAMP (点滅) PIVOT REV LAMP (減光点灯)

首振り調整 首振り構造で見やすい向きに調整可能。

POINT 各エンジン回転設定のワンポイント

各エンジン回転設定は下記を参考にお好みに応じて調整してください。
▲ 回転数の確認作業の際は同乗者に協力してもらい、安全に配慮して行ってください。

ECOランプ活用術

用途1 おもに巡航走行でECO運転を心がけたい場合(高速など)
設定回転=時速60～80km/h(トップギア)で巡航走行時のエンジン回転数+100～300rpm

用途2 おもに一般道走行でECO運転を心がけたい場合
設定回転=通常走行でのシフトアップポイントのエンジン回転数-1000～-300rpm

シフトランプ活用術

例) レッドゾーン7000rpmの場合

用途1 スポーツ走行に使用する場合
設定回転=レッドゾーン-1000rpm付近

※ 純正タコメーターがなくレッドゾーンがわからない場合はディーラーなどにお問い合わせいただくか、実走行で高回転まで回し、トルクが下がる回転の1000rpm手前付近とお考えください。

コントローラー部の名称

(正面)

- 表示部**
回転/各設定表示
- SETスイッチ**
各モードでの回転設定/各種設定ダウン
- MODEスイッチ**
各モード切り換え/各種設定アップ

(背面)

- 1 OBD2コネクター**
電源と回転信号を得るために接続(一部車種)(白コードを接続した場合は、電源のみ)
- 2 2Pカプラー (RL-Xのみ)**
シフトランプの2Pカプラーコードを接続
- 3 4Pカプラー (RL-Zのみ)**
シフトランプの4Pカプラーコードを接続

配線接続方法

準備

作業を始める前に取付ける車種に対応した取付方法をご確認ください。

1 電源と回転信号の接続 (RL-Z・RL-X共通)

表中記号： □=カットギボシ (またはハンダ付け) □K=ギボシ接続

Aタイプ：付属の「回転信号配線一覧表」で「カプラーオン取付覧」が●・○印の車種 (トヨタ・ダイハツ・MINI (BMW) 車の一部)

Bタイプ：その他の車種 (故障診断コネクタ装着車)

Cタイプ：故障診断コネクタがない車種または使わない場合
故障診断コネクタを使用せず配線を直接行う場合は、OBD2コネクタの根元で各コードをカットして配線してください。

1 根元でカット

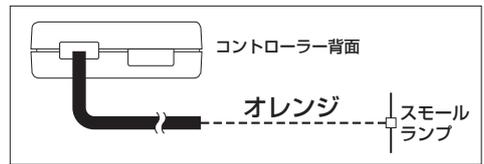
2 コントローラー背面

※1 白コードの長さが足りない場合は、付属の白コードで延長してご使用ください。
【参考2】ギボシの使い方 参照 (⇒3ページ)

配線コード説明

コード色	接続場所	詳細
赤	IGN	キー ON で 12V がでる場所 (常時電源も可)
黒	GND	アースが確実に取れるネジなど
白	TA	エンジン回転信号
オレンジ	イルミ	スモール ON で 12V がでる場所

オレンジコードの配線 (通常は配線不要)
本配線はシフトランプの明るさをスモール連動で最小輝度にするためのものです。



⚠️ **こんなときは**
ECUの回転信号に他の機種が接続されている場合

- 両方接続しても正常に動作する……………そのまま使用可能。
- 動作しない、または不安定な動作をする……………ECUの配線への接続をやめ、イグニッションコイル、またはダイアグノシスへの接続に切り換える。(下記参照)

⚠️ **こんなときは**
回転信号をエンジンコンピューター以外からとる場合

●ダイアグノシス (チェックコネクタ) からとる場合
例：ロードスター (NA6C) の場合

●イグニッションコイルからとる場合

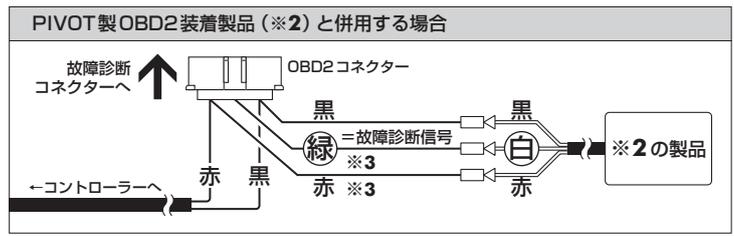
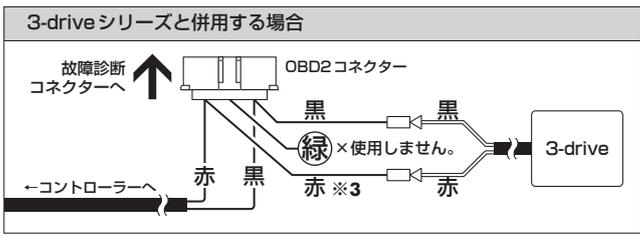
イグニッションコイルやダイアグノシスへ接続して回転数表示が極端に少ない場合
例：6気筒車で純正タコメーターが3000rpmの時に500rpmを表示する。
原因：取り付けたクルマが独立点火式のため。
▶▶ 気筒設定数を「1」にします。
(⇒4ページ「各種設定」A 気筒数設定)

⚠️ **こんなときは**
3-drive や PIVOT 製 OBD2 装着製品 (※2) と併用する場合
その他の製品 (他社品を含む) や複数の PIVOT 製品と併用する場合は別売の OBD2 配線キット (OBD-EH ¥3,360) を使用すると簡単に取付可能です。詳しくは http://pivotjp.com/information/obd_conjunction.html をご確認ください。

※2 に該当する製品
X2・X3シリーズ、RM-07、WTM
REV LAMP と上記製品を併用する場合は、それぞれの対応車に該当する車種のみとなります。

⚠️ **差し込みはエンジン始動中に行う**
この場合のコネクタ差し込みは誤作動防止のため、**エンジン始動中**に行ってください。
また、バッテリー端子を外した場合も一度コネクタを抜き、差し込み直してください。

下記に従い配線を行ってください。



※3 赤と緑の絶縁キャップは抜いてオスギボシを差し込んでください。

併用する製品の準備

※2の製品を併用する場合は、併用する製品の OBD2 コネクタをカットしてください。

- ① 車輻側の故障診断コネクタから OBD2 コネクタを抜く。
- ② コネクタから 10cm ほどの位置で切断する。
- ③ 切断した位置から 5cm ほどシースをむく。

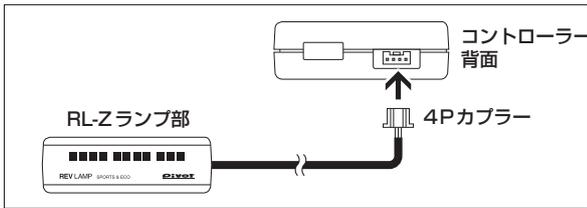
- ④ 黒・白・赤コード以外を切断し、絶縁テープなどで確実に絶縁する。
- ⑤ 黒・白・赤コードにギボシを確実に接続する。
【参考2】ギボシの使い方参照 (⇒3ページ)

2

コントローラーとランプ部の接続

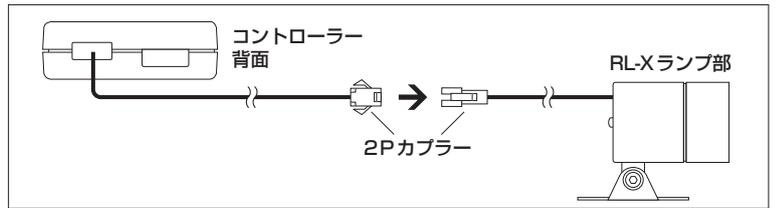
●RL-Zの場合

ランプ部からの4Pカプラーコードをコントローラー背面の端子に差し込む。



●RL-Xの場合

ランプ部からの2Pカプラーコードをコントローラー背面から出ている2Pカプラーコードに差し込む。



[参考1] OBD2 コネクターの取扱注意

<p>差し込み時/抜き取り時はこの凸部を持って行う。</p>	<p>凸部が握れない場合</p> <p>車種により、コネクターが奥まで入り凸部が握れない場合があります。</p>	<p>インシュロックの輪の部分を持って引き抜く。</p>
--------------------------------	---	------------------------------

⚠ 注意

抜き取り時にコードを持って引き抜くと断線の恐れがありますので絶対に行わないでください。

[参考2] ギボシの使い方

カットギボシの使い方		オスギボシの使い方			
<p>1</p> <p>接続するコードの被ふくを10mm位むく。</p>	<p>2</p> <p>接続したいコードの被ふくの先端を10mm位むく。</p>	<p>1</p> <p>コードの先端を10mm位むく。</p>	<p>2</p> <p>かしめるコードの芯線を折りたたむように太くする。</p>	<p>3</p> <p>カバーを通しておく。</p>	<p>4</p> <p>圧着部にコードをセットする。</p>
<p>3</p> <p>被ふくをむいた箇所をしっかりとめる。</p>	<p>4</p> <p>確実にかしめる。</p>	<p>5</p> <p>内側の圧着部と芯線を確実にかしめる。</p>	<p>6</p> <p>外側の圧着部を被ふくの上からかしめる。</p>	<p>※オス：メスギボシは接続後オスカパーがメスカパーの内側へ入り込むようにしっかりとネジ込んでください。</p>	

[参考3] 付属アース端子の使い方

1. 黒コードの先端を10mm位むく。
2. コードの芯線を折りたたむように太くする。
3. アース端子をかしめる。
4. アースの取れるネジへ。



製品の固定

車内の見やすい場所へ取り付けます。

コントローラー部とRL-Zランプ部の取り付け

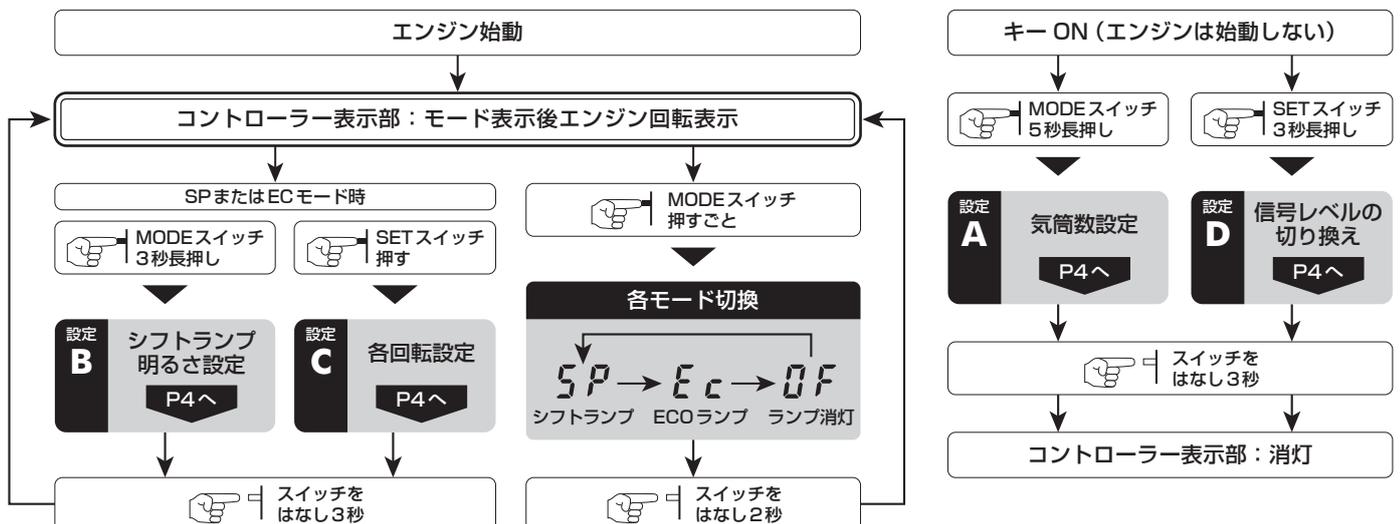
(装着場所例)	(装着方法)
	<p>製品 両面テープ(付属) 汚れ・油分をキレイにする。</p> <p>両面テープで固定。(貼り付け部の油分や汚れはキレイにする。)</p>

RL-Xランプ部の取り付け

(装着場所例)	(装着方法)
	<p>お好みの角度に調整 六角穴付ネジ</p> <p>両面テープ(付属) 汚れ・油分をキレイにする</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 両面テープで固定。(貼り付け部の油分や汚れはキレイにする。) ② 見やすい角度に合わせてからネジを固定。

基本操作方法

REV LAMPの基本的な操作の流れです。設定に関しては4ページ「各種設定」をご参照ください。



各種設定



各設定はコントローラーの表示部とスイッチを使って行います。

設定 A 気筒数設定

MODE 長押し 5秒

クルマごとの気筒数を設定します。

1 **MODE**スイッチ 5秒長押し

キー ON 状態 (エンジンは始動しない) で MODEスイッチを5秒長押しします。

3 **SET** **MODE** **ダウ** **アップ**

スイッチを押すごと表示が切り換わります。

2 気筒数表示 例) P4
(出荷時は4気筒に設定されています)

順番 P4 > P5 > P6 > P8 > P1 > P2 > P3

気筒数の表示パターン ※2サイクルの場合は気筒数を2倍にて設定してください。
(例: 2サイクル3気筒車の場合6気筒設定)

表示	気筒数	車種
P1	1	日産車 (フェアレディZ Z33)・マツダ車 (アテンザ等) ※
P2	2	マツダ車 (RX-8)・スバル車 (フレオ初期型等) ※
※1気筒、2気筒設定の場合、信号レベル切り換えをLoに設定してください。 ⇒設定D 信号レベル切り換え をご参照ください。		
P3	3	3気筒車
P4	4	4気筒車・ロータリー車 (RX-7)
P5	5	5気筒車
P6	6	6気筒車
P8	8	8気筒車
PA	特A	日産マーチ/キューブ等の一部車種

4 スwitchを はなし3秒

5 表示消灯

設定 B シフトランプ明るさ設定

MODE 長押し 3秒

シフトランプの明るさを調整が5段階で設定できます。
(ECOランプは減光点灯のため、明るさ調整はできません。)

1 **エンジン回転表示** **MODE**スイッチ 3秒長押し

エンジン回転表示中 (SPまたはEcモード時) に MODEスイッチを3秒長押しします。

4 スwitchを はなし3秒

2 例) L5 シフトランプが点灯し、設定照度を表示 (例: 明るさ最大時)

5 SPまたはEc表示後 **エンジン回転表示**

3 **SET** **MODE** **ダウ** **アップ**

スイッチを押し、明るさを切り換えます。

暗 L1 > L2 > L3 > L4 > L5 明

設定 C 各回転設定

SET 押す

シフトランプとECOランプの発光回転数を設定します。

モード	変更項目	設定範囲
SP	シフトポイント	2000~9900rpm (100rpm単位)
Ec	ECO警告ポイント	1500~4000rpm (100rpm単位)

1 **エンジン回転表示** **SET** スwitch押す

エンジン回転表示中 (SPまたはEcモード時) に SETスイッチを1回押しします。

4 スwitchを はなし3秒

2 SPまたはEc表示後 例) 35 現在の設定を点滅表示 (例: 3500rpm設定時)

設定中はランプが点灯します。

5 SPまたはEc表示後 **エンジン回転表示**

3 **SET** **MODE** **ダウ** **アップ**

スイッチを押し、設定回転数を切り換えます。

SETスイッチを押すごとに設定回転が100rpm上がり、MODEスイッチを押すごとに設定回転が100rpm上がります。
※スイッチを押している間は設定が連続して変化します。

設定 D 信号レベル切り換え

SET 長押し 3秒

下記以外の車種は切り換えるの必要はありません。

日産 (フェアレディZ Z33)・マツダ (H14年以降の一部)・三菱 (コルト他)・スバル (フレオ初期型等)

※詳細は付属の回転信号記録一覧表をご覧ください。

1 **SET** スwitch 3秒長押し

キー ON 状態 (エンジンは始動しない) で SETスイッチを3秒長押しします。

4 スwitchを はなし3秒

2 H1 または L0 表示

5 表示消灯

3 **SET** / **MODE** スwitch押す

スイッチを押すごと表示が切り換わります。

H1 一般の場合 L0 レベルが小さい場合

故障と思われるまえに

症状	原因	対策
エンジン作動状態でコントローラー一部が回転表示しない。	各コードの接続または接触不良。 OBD2コネクターの接続不良。 信号検出レベルがあていない。	各コードの接続場所及び接触状態をご確認ください。 OBD2コネクターの接続状態をご確認ください。 4ページ「各種設定D」、対応車表をご参照の上、確実に設定してください。
コントローラー部の回転数表示が純正タコメーターと大きく違う。	気筒数設定の誤り。 信号検出レベルがあていない。	純正タコメーターとの精度の違いにより多少の誤差がある場合があります。 4ページ「各種設定A」をご参照の上、確実に気筒数を合わせてください。 4ページ「各種設定D」、対応車表をご参照の上、確実に設定してください。
シフトランプ・ECOランプが発光しない。	各回転設定をした回転数に達していない。 ランプ部からの4Pまたは2Pカプラーコードの接続不良。	4ページ「各種設定C」をご参照の上、設定した回転数をご確認ください。 各コードの接続場所をご確認ください。
スモールONにしてもシフトランプが減光しない。	オレンジコード (スモールONで12V) の接続または接触不良。 シフトランプ明るさ設定が暗くなっている。	オレンジコードの接続場所及び接触状態をご確認ください。 4ページ「各種設定B」をご参照の上、設定をご確認ください。
エンジン停止中にコントローラー部の表示が点灯する。	クルマ側のノイズ (ドアロック等) で一時的に動作してしまう。	一時的な動きであれば支障ありませんが、気になる場合はOBD2コネクターの赤コードをカットしIGN (キーONで12V) へ接続してください。
パワーウィンドウのオート機能や各電子機器がリセットされる。	バッテリーマイナス端子を外したことによる。	バッテリーマイナス端子を戻し、各説明書に従って再設定してください。